



専攻科レター

Vol. 11

2022. 12 岩手県立黒沢尻工業高等学校 専攻科広報

I
N
D
E
X

- 1 修了研究発表会のご案内
- 2 黒工祭
- 3 学生インタビュー(1年生)
- 4 授業紹介(数値制御工作機械)

修了研究発表会

保護者 高校生向け 1/21 一般企業 教職員向け 1/27

専攻科の学習の集大成である修了研究の発表会を開催します。修了研究では、一人一テーマで研究を行い、テーマ設定から設計、材料発注、加工、組み立て調整、すべて一人で行います。2年生はこの日のために研究を続けてきました。学生の頑張りをぜひご覧ください。参加は事前申し込み制となります。専攻科への進学を考えている生徒や保護者の皆さんはぜひ参加してみてください。

開催日	保護者・高校生向け	令和5年1月21日(土)
	一般企業向け	令和5年1月27日(金)
会場	岩手県立黒沢尻工業高等学校 視聴覚室	
時程	9:30~9:40 開会式	
	9:40~10:30 第1セッション	
時程	10:45~12:00 第2セッション	
	13:00~14:15 第3セッション	
	14:20~14:30 閉会式	
	※発表時間一人20分	
研究テーマ	全8テーマ 詳細はホームページ掲載の実施要項をご覧ください。	
その他	高校生は、1月21日(土)の発表会、各校教職員は27日(金)に参加可能です。 参加希望する方は、専攻科ホームページの専用フォームからお申し込みください。 詳細は、実施要項をご覧ください。	

黒工祭開催

10月15日、16日



10月15日、16日と黒工祭を開催しました。専攻科は、一般公開の16日のみ参加しました。

参加者を限定しない黒工祭にとり、さらに多くの方にお越しいただきたいものです。

授業で製作した作品の展示や、実習の実演、修了研究の展示などを行いました。コロナ禍のため不安でしたが、多くの来場者に恵まれ、たくさん遊んでいただきました。次回は



学生インタビュー

「この1年を振り返って」

1年電気コース T.Sさん (花北青雲・情報工卒)

- Q.率直に2022年はどんな年でしたか？**
学校が変わったりなど環境の変化が大きい年でした。新たな学習内容にワクワクしたり、一方で、それらに対応することに苦労した年でした。
- Q.花北青雲から専攻科に進学してよかったことは？**
専攻科では企業の情報が入りやすく、例えば地域産業では知らなかった企業や職業について知ることができたことが良かったです。生活にはすぐに慣れました。
- Q.高校と専攻科の学習での違いは？**
授業で学ぶ範囲が広く、自分で考える機会が多いです。例えばシーケンス制御などで、基礎は教えてもらいながらも目的を達成するように自分で考えることなどです。
- Q.2年生で頑張りたいことは？**
修了研究や、就職希望先では電験三種の取得が必要なので、その取得などです。一方で人と話すことも多くなるので、コミュニケーション能力の向上や、自律も目指したいです。

授業紹介

数値制御工作機械(1年機械)

機械コース1年後期では、NC旋盤とNCフライスを用いた授業を行っています。前期では汎用旋盤の取り扱いによる切削加工を学習する一方、この授業ではその作業をコンピュータで制

御することで、量産品に対応したものづくり技術を学びます。専攻科では、NC旋盤を2台保有していますが、いずれも地元企業から寄付されたものです。機械部品を製造する企業に就職



技能検定2級課題

する学生もおり、より実践的な学習につながっています。



編集後記

早いもので今年も12月です。来月は専攻科最大のイベント修了研究発表会を予定しています。年内完成を目指す2年生は心身ともに苦しい時期となっています。期限まで製品を、それも一人で責任をもって製作するプレッシャーは大きなものです。しかし、この経験は彼らを大きく成長させ、修了生に聞いてもこの経験は糧になっているようです。一方、1年生も自身の進路を絞り込み、就職を希望する企業における2月の企業実習(インターンシップ)に向けて準備を進めています。

岩手県立黒沢尻工業高等学校専攻科広報
専攻科レター Vol.11
2022年12月 発行

〒024-8518
北上市村崎野24地割19番地
電話 0197-66-4115
FAX 0197-66-4117



工業高校卒業後は専攻科で実践力あるエンジニアを目指そう！